

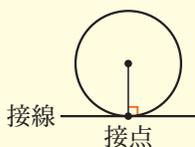
# 6章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

## 円の接線

▶ p.183

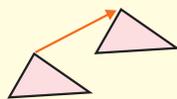
円の接線は、接点を通る半径に **垂直** である。



## 平行移動

▶ p.195

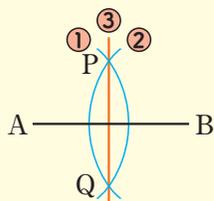
対応する2点を結ぶ線分はすべて **平行** で、その長さは等しい。



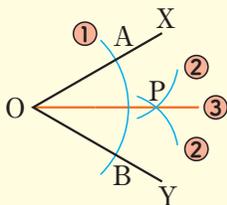
## 基本の作図

▶ p.185

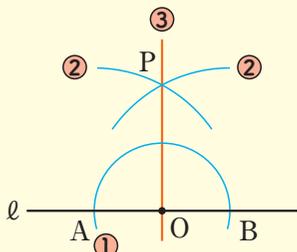
垂直二等分線



角の二等分線

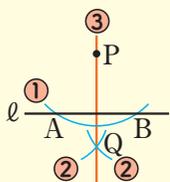


直線上の点を通る垂線

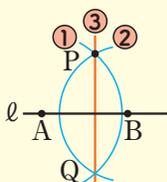


直線外の点を通る垂線

[方法1]



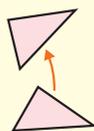
[方法2]



## 回転移動

▶ p.196

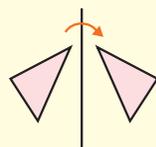
- ① 対応する2点は、**回転の中心** から等しい距離にある。
- ② 対応する2点と回転の中心を結んでできる **角** の大きさはすべて等しい。



## 対称移動

▶ p.197

対応する2点を結ぶ線分は、**対称の軸** によって垂直に2等分される。



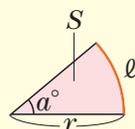
## おうぎ形の弧の長さや面積

▶ p.201

半径  $r$ 、中心角  $a^\circ$  のおうぎ形の弧の長さを  $l$ 、面積を  $S$  とすると、

$$l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$

$$S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$



6章で見つけた **!** をふり返って、学習感想をまとめてみましょう。

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと など



線対称な図形の性質を利用すると、いろいろな図形を作図できることがわかった。

3つの移動を組み合わせると、図形をいろいろな位置に移動することができた。

中心角の大きさに着目して、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができたようになった。

